

指定管理者の期末モニタリング

施設名	第2期 公設宮代福祉医療センター	年度	平成23年度
指定管理者	公益社団法人 地域医療振興協会	担当課	保険健康課
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	期別	第2期
施設の目的	初期診療の拠点となる診療所に加え、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、通所リハビリテーション施設、居宅介護支援事業所、保育所の6つの機能を複合した施設で、地域における保健・医療・福祉を一体的に包括して、乳幼児から高齢者までが住み慣れた環境の中で、生きがいをもって暮らせる社会の実現を目指すことを目的としている。		
業務の内容	(1)①診療所:外来・入院 ②介護老人保健施設:居宅サービス・施設サービス・介護予防サービス(通所リハビリテーション・短期入所療養介護・介護支援・介護老人保健施設サービス) ③訪問看護ステーション (2)施設及び設備の維持管理に関すること。 (3)福祉医療センターの設置の目的を達成するために必要な業務に関すること。		

総合的な評価	評価項目数
<p>【総合評価】</p> <p>乳幼児から高齢者まで誰もが住み慣れた環境の中で、生きがいをもって暮らせる社会を目指し、保健・医療・福祉の包括的な複合施設としての機能を発揮している。経営状態も黒字で、安定しており、毎年2回市民参加による運営懇話会を開催し、町民の声を直接聞いて反映させている。</p> <p>【評価事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営面で、黒字経営となっている。 ・町民のニーズを取り入れ、短期リハビリを拡大実施し、町民からの評判も良い。 ・23年度も世代間交流事業の実施、その他六花の特徴的なイベントも種々取り組んでいる。 ・さまざまなエコ対策にも取り組み、省エネ化を実践している。 ・職員は種々の研修に参加し、日々研鑽を行っている。 ・老人保健施設の入所者の洗濯業務に、障がい者に働く環境を提供をしている。 ・リハビリスタッフの充実により、利用者の好評を得ている。 ・夜間・休日診療をしている。 ・今年度より実施された小児肺炎球菌、ヒブワクチン、子宮頸がんワクチンの個別接種を多く行なった。 <p>【改善事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民のニーズに対応したサービスの向上及び現状の事業継続並びに安定した収益の継続を期待します。 	<p>A 優良: B 適正:14 C 改善:</p>

1. 施設の管理運営・事業	評価
外来患者数(5.1%の減)、入院数(7.9%の減)、入所者数(1.6%の減)、通所リハビリ数(15.3%の増)、収益は2.6%の増、経常利益は61.0%の減で昨年度を下回った。	B 適正
2. 利用者の公平確保	評価
診療所は、どなたでも利用可能、介護老人保健施設は介護度等の条件を満たせば利用可能である。利用者の公平性は、満たされている。また、診療費の徴収状況(徴収率)もほぼ100%である。	B 適正
3. 職員の配置、研修等	評価
通所リハビリテーションの利用者増加に伴い、介護職員4名増員しサービス向上を図った。摂食、嚥下障害の利用者が多いため、言語聴覚士常勤職1名に加え、非常勤1名を採用しリハビリの向上に努めた。 地域振興協会本部で、新人研修、主任研修、管理者研修等職員の能力向上に努めている。また、医師会、全国老人保健施設協会、埼玉県社会福祉協議会、看護協会の研修にも多く参加している。職員の健康診断は、毎年実施している。	B 適正
4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検	評価
施設の維持管理業務および設備の保守点検業務を、それぞれ専門業者へ委託し、保全・安全を確保している。清掃、設備点検等実施後は、内容や結果等の詳細な記録を残すとともに台帳で管理している。医療設備・器具は専門業者が定期的に点検を行い、制度管理、維持管理を適切に行っている。	B 適正
5. 施設の修繕	評価
医療機器、施設設備の修繕はその都度業者に依頼し、行っている。	B 適正

平成23年度は冷房器機の故障が多く、至急の対応が必要となったため、サーバー室に専用の冷房機の取付けや厨房の設備修繕(洗浄機、水周り) など六花の費用で修繕を行った。また、施設の空調点検も行った。	
6. 備品管理	
開設当初は、町が購入した備品が主であったが、パソコン、携帯電話等小備品の至急必要な備品が多くなり、六花で購入し対応している。備品には、シールを貼り、台帳管理している。厨房内に新しい食器を六花の費用で追加購入した。(台帳管理)	B 適正
7. 安全・危機管理	評価
防火管理者は、消防計画を作成し、年2回消防訓練を実施している。その消防訓練は、夜間を想定した訓練も含まれている。 防災マニュアルを整備し、緊急時には、防災マニュアルにのっとり、センター長が緊急召集、指示命令を行い、保健センター担当者に至急連絡する体制を整えている。	B 適正
8. 個人情報の管理	評価
個人情報保護規程を整備し、職員及びボランティアや研修生から守秘義務に関する誓約書を受け取っている。紙の書類は管理庫に施錠して保管している。電子カルテは、施錠のできるサーバー室で管理している。パソコン内の情報管理はパスワードで制御することにより、個人情報の秘密保持を図っている。	B 適正
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価
公設宮代福祉医療センター運営懇話会で出された住民の意見や要望、投書箱、電子メール、町の介護相談員からあがってくる意見を反映させて運営している。 23年度の改善点は、以下のとおりである。 ・デイケアスタッフの増員 ・小児科専門医による診察枠の増 ・予防接種の時間延長 ・言語聴覚士の増員 ・食器の新品への入れ替え ・グリーンカーテンによる節電 ・熱中症予防のため利用者へスポーツドリンクの提供 ・デイケアの昼食外食の導入 ・感染症予防のため加湿器の導入 など	B 適正
10. 自主事業の実施	評価
季節ごとのイベント、バス旅行、夏祭りなど1年を通して季節感を味わい、楽しんでいただくような行事を多く取り入れている。また、六花ガーデンには、野菜、果物、花等を栽培し、秋には収穫祭で食事を楽しんでいる。 さらに、年2回の世代間交流事業では、知的障害者、身体障害者、精神障害者、保育園児、高齢者とのふれあい音楽会を開催し交流を深めている。	B 適正
11. 経費節減	評価
職員一人一人が、使用していない部屋の電気の消灯、休憩時の消灯など徹底して節電に努めている。	B 適正
12. 環境への配慮	評価
雨水を地下に溜め、その水を花や野菜にあげており、打水や車両洗浄にも使用し有効活用している。また、太陽光発電を取り付けており、節電対策にも取り組んでいる。	B 適正
13. 利用者への情報提供	評価
六花の案内リーフレットをリニューアルし、サービスの概要や利用者負担額などをわかりやすく説明している。ホームページ上で、診療時間、施設案内、イベント等掲載している。 23年度は、公設宮代福祉医療センターのPRのため宮代町地域情報誌(やっぱ宮代だべ)、保健センターガイドにも施設案内を出した。	B 適正
14. 会計管理	評価
公益社団法人として貸借対照表、損益計算書は会計基準にのっとり適正に行われている。毎月の会計監査も受けているので内部の会計も厳しく行っている。また、会計内容は厚生労働省へ提出している。	B 適正